

戸田市ボランティアセンターだより

5月

トピトピ

2024年 NO.62
～トッピー&トピックス～



～現在募集中のボランティア～

裏面にも募集中のボランティアがあります

各日2名募集

2名募集



さくらパルイベントでの 着付けのお手伝いボランティア

さくらパルイベントで着付けに興味のある市民（外国人も含む）を対象に着付けのお手伝いをしてくださる方を募集します。

日時 7月6日か7日
(調整の上決定)
9:00～13:00
※イベントは10:00～12:00

場所 さくらパル
(新曽南3-1-5)

女性向け起業支援セミナー 託児ボランティア



日時 ①5月21日(火)
18:30～20:30
②6月11日(火)
6月18日(火)
6月25日(火)
7月2日(火)
9:30～12:30
※集合は15分前

場所 戸田市商工会議所
(上戸田1-21-23)

6か月～未就学児、最大3名。
エプロン、飲み物をお持ちの上、
マスク着用をお願いします。

【ボランティア相談】

ボランティア活動に興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。

「こんなボランティアをやりたい」「市内にどんなボランティアグループがあるんだろう…」こんな疑問をもったら戸田市ボランティアセンターまでご連絡下さい。

また、ボランティアセンターだよりへの掲載を希望する方、ボランティアを募集したい方は、裏面のボランティアセンターまでご連絡お待ちしております。



本会登録ボランティア団体「戸田伴走伴歩の会」より文章をご寄稿いただきましたので、掲載させていただきます。



チーム競技としてのマラソン

「ダイバーシティ」という外来語は一時の流行語から日本では埋没しているような気がします。その原因として「ダイバーシティ」を表現する日本語が存在しないことが誘因と考えられます。ブラインドマラソンにて小さなチャレンジにダイバーシティの真の意味を実感しましたので報告いたします。

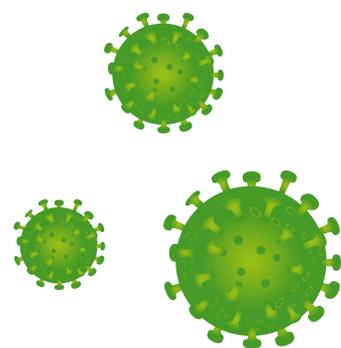
(1) Sさんとの出会い

Sさんはスポーツ愛好者でしたが、疾病により光を失った障がい者です。活発な性格でただけに、障害を負ってからの生活のギャップは大きかったと思います。以前と比べて引きこもりがちになったのでブラインドサッカーに取り組んでみましたが、若者の多いサッカーで限界も感じておられたようです。戸田伴走伴歩会に加わられました。体力には自信はおありだったようですが、初めは3kmも走れなかったとのことでしたが、持ち前の努力で戸田彩湖マラソンのハーフマラソンを完走し、フルマラソンの挑戦を目指すようになりました。



(2) コロナとの闘い

伴走者とまさに二人三脚で少しずつ練習の距離を伸ばし、フルマラソンにエントリーされました。そこに、立ち上がったのが「コロナ禍」でした。ランニングイベントが長らく中止になったばかりでなく、緊急事態宣言のもとでは伴走者と練習することすら非常識との風潮もあり、すべての練習を中止せざるを得ませんでした。



(3) 失わなかった夢

そんな中でもSさんは走る楽しさ、伴走者と共に過ごす短い時間を取り戻したかったのだと思います。練習会が復活すると、少しずつ走る感覚を取り戻し10km、ハーフと大会で完走しました。

しかし、年齢は65歳を超えていました。健常者でも「市民マラソンランナー」を引退する年齢です。それでも、フルマラソンを完走しないと「マラソンランナー」にはなれないとの思いが強かったようです。ガイドランナーも交代で練習すればもう一度チャレンジできるのではないかとその思いを強くしました。



(4) トラブルとの葛藤

本番3か月前より平日朝のガイドランナー1名と週末のガイドランナー2名で週30~40km程度の練習を始めました。しかし、平日担当のエースが膝痛で練習を回避せざるを得なくなり、週末担当のガイドが補うようにプランを変更せざるを得なくなりました。また、本番の2週間前になりレースの半分を担当するガイドが突然の出張で無念のリタイアとなりました。そんな中でも、Sさんは「仕事が優先だから」と笑顔で練習を続けました。レース当日は、限られた環境で折り返しの後歩くようになり、時間内完走が危ぶまれましたが、どうしても完走したいとの思いが勝り、制限時間が迫る中、見事、時間内完走を果たしました。ガイドランナーもそれぞれ複数の市民マラソンやブラインドマラソン大会を完走して経験しましたが、高齢の視覚障がい者の初マラソンのゴールラインを共に超えることで今までにはない感動を味わえました。



(5) 双方向のダイバーシティ

日本でのダイバーシティは性別や、障がい者の「多様性」を受け入れることとの認識が一般的だと思います。不適切な表現かもしれませんが、パラスポーツも「健常者が障がい者を援助する」との認識が一般的だと思います。今回のチャレンジを通して、少なくともアマチュアのブラインドマラソンはランナーとガイドがお互いに高めあうスポーツであると共に、練習やレースを通してお互いの経験や感覚を共有することに気が付きました。

勿論、障害があることは不便であることは否めません。一方で報道等でも障がい者スポーツの意義は目にすることは多くなりましたが、「障がい者」と「健常者」の壁を取り払えるのはブラインドマラソン独特の感覚かもしれません。

人生はしばしばマラソンに例えられますが、ブラインドマラソンは例えではなく「ダイバーシティ」そのものなのかもしれません。



文責：戸田伴走伴歩の会

こどもの居場所ネットワークボランティア募集



戸田市社会福祉協議会はこどもの居場所ネットワーク事務局として、こどもの居場所活動を支援しています。



こどもの居場所ホームページについて

<https://kodomo-no-ibasho.city.toda.saitama.jp/>



一般社団法人ハートフロッグ 「わくわくおやつ村」村人スタッフ大募集

おやつ村は地域の子どもたちを対象とした、幼稚園から中学生まで幅広い世代を対象とした、思い思いに楽しく過ごせる交流の居場所です。一緒に活動してくれるボランティア（村人スタッフ）を募集しています。

日時 第3、第4水曜日

15:00～17:30

場所 戸田市笹目6-5-12

アグリマーケットそろばん塾ピコ

問合せ 一般社団法人ハートフロッグ

090-8649-6614



喜沢2丁目支部 子育てサロン ボランティア募集

喜沢2丁目支部では、地域のみなさんの子育てを応援する子育てサロンを再開しました！

絵本や紙芝居の読み聞かせやおもちゃで遊んだり、楽しいサロンで一緒にボランティアをしませんか？

日時 毎月1回月曜日 10:30～12:00

5月20日、6月17日、7月8日、8月19日、9月9日、10月21日

11月18日、12月16日、1月20日、2月17日、3月17日

場所 喜沢2丁目会館

(喜沢2-20-6)

※託児ボランティア経験のあるボランティアさんを希望します。



発行：戸田市社会福祉協議会（戸田市ボランティアセンター）

〒335-0022 戸田市大字上戸田5番地の6

電話 048-442-0309 FAX 048-442-3996

開設時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15（土日祝日を除く）

URL <http://www.todashakyo.or.jp/>

☆トピトピは市内公共施設でも配架しております。

LINEでも情報発信中↓

